

## 東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra

1911年創立。2011年、日本のオーケストラとして最初の100周年を迎える。約150名のメンバーをもち、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。2010年4月より、ベルリン国立歌劇場やメトロポリタン歌劇場をはじめ世界の楽壇で活躍するダン・エッティンガーを常任指揮者に迎える。定期演奏会を中心とする自主公演、新国立劇場を中心としたオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏など、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。

海外公演も積極的に行い、最近では2005年11月のチョン・ミョンフン指揮による「日中韓未来へのフレンドシップツアー」に続き、2013年12月に韓国・大邱市の招聘により日本から唯一アジア・オーケストラ・フェスティバルに出演、2014年3月にはアジア・欧米6か国を巡るワールド・ツアーを行い国内外の注目を集めた。1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。また東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。



© K.Miura



© 渡田聡

### 渡邊 一正

#### Kazumasa Watanabe / Conductor

東京フィルハーモニー交響楽団指揮者。1995～02年まで広島交響楽団正指揮者を歴任。NHK交響楽団の定期演奏会を始め、日本国内のオーケストラとは読売日響、日本フィルを始め主要なオーケストラと定期的に客演している。オペラ、バレエでの活躍も目覚しく、新国立劇場で歌劇「友人フリッツ」、同劇場バレエ団では「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮。2006年には「白鳥の湖」の新演出の指揮も行い、大成功を収めた。海外での公演ではサンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど、確実にキャリアを積んでいる。

ピアニストとしても8歳の時に東京交響楽団、東京フィルと協演。87年～89年まで渡欧しハンス・ライグラフ教授に師事。その後、東京フィル定期、広島交響楽団定期などのオーケストラと弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も評価されている。



© Kazuo Matsuura

### 小山 実稚恵

#### Michie Koyama / Piano

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール第3位、ショパン国際ピアノコンクール第4位という、二大コンクールともに入賞した日本人で唯一のピアニスト。コンチェルトのレパートリーは60曲にも及び、国内外のオーケストラや著名指揮者とも数多く共演を重ねている。

2006年から春・秋年2回ずつの壮大なプロジェクト“12年間・24回リサイタル・シリーズ”を開始。公演は全国7都市（東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、福岡、北九州）において進行中である。ショパン生誕200年にあたる2010年のショパン国際ピアノコンクールを始め、チャイコフスキー、ロニティボーなどのコンクールで審査員を務めている。2014年9月には、ミュンヘン国際音楽コンクール・ピアノ部門に審査委員として参加予定。また、2011年の東日本大震災以降、東北出身ということもあり被災地の学校や公共施設等で演奏を続けている。

CDは、ソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結び27枚をリリース。前作『ヴォカリーズ』と最新盤『シャコンヌ』は、2作連続して「レコード芸術」の特選盤に選ばれた。

2005年度 文化庁芸術祭音楽部門 大賞  
2013年度 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門 本賞  
2013年度 レコード・アカデミー賞 器楽曲部門 『シャコンヌ』

※やむを得ない事情により、出演者・演奏曲目・曲順などが変更となる場合がございます。ご了承ください。